

## 結束を強固にして町村の諸課題の解決に邁進

全国町村議会議長会会長 櫻井 正人

町村長の皆様には、日頃から、町村行政の中核にあつて、住民福祉の向上と地域の発展のため、日夜、献身的なご努力と情熱を傾けておられることに心から敬意を表しますとともに、全国町村議会議長会の活動に対し格別のご高配を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

去る 11 月 1 日、圧倒的な国民の信託を得て、第四次安倍内閣が発足いたしました。

政策の安定と継続は、中長期的な視野に立って行財政運営にあたっている地方にとっても重要なファクターであります。

とりわけ、国との協力体制で進めている「地方創生」の取組は、すでに総合戦略の中間年に入っており、本格的な事業展開を始めた地方にとっては、制度及び財政両面での継続的な支援が不可欠であります。

本会といたしましても、全国町村会と連携をとりながら、国に対して、まち・ひと・しごと創生事業費の拡充、地方交付税総額と合わせ一般財源の充実確保、「地方創生推進交付金」の拡充など、地方創生の推進に必要な予算を確保されるよう、意見を申し述べてまいりたいと考えております。

また、税制改正については、廃止・見直し論が再燃するとみられている「償却資産に係る固定資産税」及び「ゴルフ場利用税」は是が非でも堅持させること、町村にとって永年の悲願であった「森林環境税」の導入は必ず実現させることを念頭に、偏在性の少ない安定的な地方税体系の構築に向け気概をもって取組む所存であります。

さて、我が国の地方自治制度は二元代表制が採用されていることから、首長と議会は「車の両輪」に例えられてきました。

これは、執行機関である「首長」と議決機関である「議会」が、お互いにチェック・アンド・バランスの機能を発揮することで、適正な行財政運営が行われることを象徴的に表現したものと理解しておりますが、多様化が進む中で、首長と議会のふたつの車輪、即ち「二輪駆動」では、個性豊かで持続可能な地域社会を築けるとは思えません。

これからの時代は、「長」と「議会」の公の車輪に、「住民」と「経済産業界」といった民間の車輪を協働させた「四輪駆動」で、山積する困難を乗り越え、故郷を創生していくべきであると私は考えております。

私ども「町村議会」と皆様方「町村長」は住民に対する立場こそ違いますが、「町村を守る」、「ふるさとを守る」との思いは共通認識であります。

これからも荒木会長の強いリーダーシップのもと、全国町村会の声が国政にしっかりと反映されることを願いますとともに、我々も、皆様方との結束をより強固にして、町村における諸課題の解決に邁進してまいり所存であります。

終わりに、全国町村会のさらなるご発展とご参集の皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして、私の祝辞とさせていただきます。